

平成29年度新規事業評価調書

【林業専用道整備事業】

農政環境部

農林水産局治山課

事業評価調書（新規）

部課室名	農政環境部農林水産局 治山課	記入責任者職氏名 (担当者職氏名)	治山課長 太田 雄一郎 (治山林道班主幹 竹中 寛)	内線	4128 (4132)															
事業種目	林道整備	事業名	地区名	総事業費	3.0億円															
		林業専用道整備事業	神河2号線	(内用地補償費)	(-億円)															
所在地				着工予定年度	完成予定年度															
神崎郡神河町大山、猪篠				平成30年度	平成33年度															
事業目的			事業内容																	
<p>当路線は神河町道側道今西2号線に接続し、利用区域面積は158haでそのうち伐採して利用できる46年生以上の人工林が89%を占めており、森林資源が成熟している。そのような人工林資源を効率的かつ継続的に活用していくためには林内路網の整備が不可欠となっているが、当地区は鉄塔や急峻な地形等により森林への進入が困難となっている。</p> <p>このため、当路線の整備により森林への進入困難箇所を解消し、大型トラック(10t)循環ルートを確認することで、素材生産コストの低減を図り伐採、利用、植栽、保育の林業生産サイクルを円滑に循環させ、森林の多面的機能を持続的に発揮させる「資源循環型林業」を構築する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・延長 2,500m、幅 3.5m ・事業主体 兵庫県 [負担割合 国：50%、県：50%] 																	
評価視点	評価結果の説明																			
(1)必要性	<p>当路線の利用区域の森林資源が成熟している。また、朝来市の木質バイオマス発電施設へ約4km、和田山木材市場へ約34kmと地理的条件に恵まれているが、現在の林内路網は主に森林作業道等のため、大型トラック(10t)の走行が困難で木材の搬出・輸送コストの縮減が課題となっている。</p> <p>このため、林業専用道整備により大型トラックによる木材輸送効率を向上させるとともに、隣接団地の既設森林作業道に林業専用道を接続することで大型トラック循環ルートを確認し、素材生産量の拡大を図る。さらに将来の皆伐・再造林を可能とするため、林業専用道の整備が必要である。</p>																			
(2)有効性・効率性	<p>①費用便益比 B/C=1.6</p> <p>②素材生産量の増加</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">a) 低コスト原木供給団地の設定</td> <td style="width: 20%;">H28年まで過去5年</td> <td style="width: 10%;">0箇所</td> <td style="width: 10%;">→</td> <td style="width: 10%;">3箇所</td> </tr> <tr> <td>b) 間伐材積</td> <td>H28年</td> <td>0m³</td> <td>→</td> <td>20千m³</td> </tr> <tr> <td>d) 主伐材積</td> <td>H28年</td> <td>0m³</td> <td>→</td> <td>65千m³</td> </tr> </table> <p>(執行環境状況) ③神河町と地元関係者からの要望が強く、事業への協力体制が整っている。</p>					a) 低コスト原木供給団地の設定	H28年まで過去5年	0箇所	→	3箇所	b) 間伐材積	H28年	0m ³	→	20千m ³	d) 主伐材積	H28年	0m ³	→	65千m ³
a) 低コスト原木供給団地の設定	H28年まで過去5年	0箇所	→	3箇所																
b) 間伐材積	H28年	0m ³	→	20千m ³																
d) 主伐材積	H28年	0m ³	→	65千m ³																
(3)環境適合性	<p>①地形に合わせた細やかな縦横断を計画する波形線形を採用し、より速やかに路面排水を行うとともに、切土量・盛土量を軽減。</p> <p>②県内産間伐材を利用し、土砂流出防止柵等へ有効利用。</p>																			
(4)優先性	<p>県下では、(協)兵庫木材センター等への製材工場への木材供給や、木質バイオマス発電の木材需要増加等に対応できる新たな木材安定供給体制の強化が求められており、「ひょうご農林水産ビジョン2025」に掲げる「低コストかつ安定的な原木供給体制の整備」を先導する優先性の高い路線である。</p>																			

平成30年度新規採択希望 林道整備事業 林業専用道「神河2号線」位置図



凡	例
利用区域	底層林
林業専用道計画区域	林業専用道計画区域
林道	林道
森林作業道	森林作業道
高規格道路	高規格道路
国道	国道
市町道	市町道

地図出典：国土地理院作成地図

木更ノイオオマス発電施設
(南米市生野町)
神河2号線から木更ノイオオマス発電施設まで
約9km

神河2号線から和田山本村市場まで
約34km

神河「森田橋」

神河「森田橋」

神河「森田橋」

神河町道新道寺宮2号線

神河「カウ平橋」

神河2号線
全線計画延長 2.99km、幅3.5m
(利用区域面積A=150ha)

神河「南川定歩橋」

神河「青木谷橋」

中はりま森林組合木材集積所
神河2号線から中はりま森林組合木材集積所まで
約10km

寺前駅

神河町役場

林道一2

縮尺：1/50,000

林道整備事業 林業専用道「神河2号線」

凡例	
利用区域	民有林
林業専用道計画区域	
林業専用道将来計画	
林道	
森林作業道	



事業概要：延長2,500m 幅3.5m
(利用区域面積158ha)
所在地：神崎郡神河町大山、猪篠
事業期間：H30～H33
総事業費：3億円

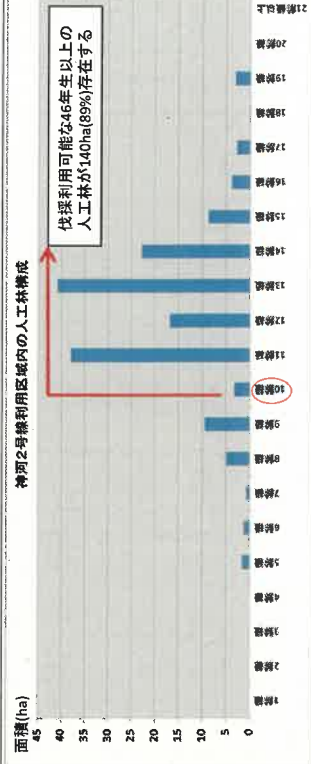


航空写真出典：兵庫県森林地理情報システム

林道一3

事業目的等：当路線の利用区域面積は人工林157haのうち伐採して利用できる46年生以上の人工林が89%を占めており、森林資源が成熟している。そのような人工林資源を効率的かつ継続的に活用していくためには林内路網の整備が不可欠となっている。このため、当路線を整備し骨格となる路網整備を行うことで大型トラクタ(10t)の循環ルートを確保し、コスト低減による素材生産力の向上を図るとともに、伐採、利用、植栽、保育の林業生産サイクルを円滑に循環させ、森林の多面的機能を持続的に発揮させる「資源循環型林業」を構築する。

	現況(H28)	計画(H33～)
低コスト原木供給団地	0箇所	3箇所
間伐材積	0千m ³	20千m ³
主伐材積	0千m ³	65千m ³



木材搬出・輸送の効率化

プロセッサ、グラブ、フォワーダによる集材、運材
未整備(非効率)

木材輸送

改善(効率化)

小型トラクタ(2t)による搬出(森林作業道) 10tトラクタで輸送(林業専用道)

1 スケジュール

工種	H30	H31	H32	H33
計画調査	■			
開設工事		■	■	■

2 事業効果について

(1) 費用対効果

① 便益 (B) の項目

事業	B(便益)	算出方法
林道整備	① 木材生産等便益	
	木材生産経費縮減便益	木材の伐採・搬出経費が縮減される効果を算出
	木材生産確保・増進便益	これまで伐採対象とならなかった区域で伐採・搬出が促進される効果を算出
	② 森林管理等経費縮減便益	森林管理を行う者の歩行時間が縮減される効果を便益
	③ 森林整備促進便益	
	洪水防止便益	森林が良好に整備されることで洪水防止、流域貯水、水質浄化、土砂流出防止、土砂崩壊防止、炭素固定に寄与する効果を算出
	流域貯水便益	
	水質浄化便益	
	土砂流出防止便益	
	土砂崩壊防止便益	
炭素固定便益		

② 費用便益比 (B/C) 算出根拠

事業名	B (便益)		代表的な効果	C (費用)			B/C
	便益額 (百万円)			総費用 (百万円)	事業費 (百万円)	維持管理費 (百万円)	
林業専用道整備事業	① 木材生産等便益	451	○搬出・輸送費縮減 3,176円/m ³ ○木材生産85,000m ³	531	524	7	1.6
	木材生産経費縮減便益	116					
	木材生産確保・増進便益	335					
	② 森林管理等経費縮減便益	1	○森林への往復所要時間縮減 64分				
	③ 森林整備促進便益	416	○期待される森林整備面積157ha				
	洪水防止便益	141					
	流域貯水便益	24					
	水質浄化便益	107					
	土砂流出防止便益	109					
	土砂崩壊防止便益	3					
	炭素固定便益	32					
	計	868					

(2) 費用対効果に含まれない主な効果

・林業振興による地域の活性化